

会報 THE ROTARY CLUB OF TSURUOKA



松田美枝さん 絵

第 216 回 例 会 1963.9.17 (火) 晴后雨

例 会 場 鶴岡市一日市町 ひ さ ご や (707番)
事 務 所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (1563番)

Person to Person
Club to Club
District to District

次 回 例 会 予 定

9月24日(火) 秋 分 の 日 休 会
10月1日(火) 善意銀行について 三 浦 洋 氏

○卓 話 鶴 岡 の 織 物 男 網 末 松 君

○出 席 報 告

本 会 員 数	45名	欠	五十嵐(伊)君、金井(勝)君
本 日 の 出 席 数	36名	席	長谷川君、広瀬君
出 席 率	81.25%	者	今間君、大野君、手塚君
			佐藤(昇)、渡部君
前 回 の 出 席 率	81.25%	メ	阿部君 (天童 R.C)
前 回 の 修 正 出 席 数	40名	ー	吉村君 (仙台 R.C)
出 席 率	89.58%	ク	早坂君 (酒田 R.C)
		ア	金井(国)君 (酒田 R.C)

○司 会 池 内 会 長

○ソ ン グ 奉 仕 の 理 想 リーダー 安 藤 君

○ビ ジ タ ー

青塚義一君 (酒田 R.C)	弦巻作治君 (酒田 R.C)
渡辺龍郎君 (〃)	斎藤一郎君 (〃)
石川正周君 (〃)	吉村哲雄君 (〃)
菅原権吉君 (〃)	

○報 告 事 項

○田中正臣君の退会について

田中君はお仕事の関係から止む無く退会することになりました。当クラブ発足当時から功績ある優秀会員を失なうことは洵に残念であり、何時の日か再び会員として迎えられることを期待します。

○会員拡大について

先般提出された推薦状は30通でしたが、その中に重複もあるので26名前後となります。目下職業分類委員会で調査中であり間もなく会員選衡委員会へ廻送されます。今年は目標以上の会員拡大を考えて居り第二次募集も予定して居りますので、今から適当な方を考えて置くよう願います。

○ロータリー財団週間について

来る10月10日より16日まで財団週間となつているが当クラブでは理事会に計り何等かの協力を考えたい現在当クラブの寄付金は既に360弗位となつて居り、100%クラブになるにはもう320弗寄付を要するようです。(1会員につき10弗に1年1弗を加える計算45名で450弗4年経過で180弗、合計680弗が100%となる)これをスマイル箱より支出することの可否を研究して頂きたい。(会長提案)

○卓 話 鶴 岡 の 織 物

男 網 末 松 君

専門的なお話を申し上げても皆様には興味がないと思いますので慢談的に話させて頂きます。

生糸は蚕のまゆから作られるので季節的な産業ともいえる、これを対象とした思惑が行なわれ易いのです。昨年

正月は50キロ単位で3,650円であつたものが逐次暴騰し暮れには6,000円更に6月には7,800円と未曾有の高価となり、現在はその反動で消費も減退し大体4,900円位であります。これは思惑師の買占めによるので僅か2ヶ月で35%も値下りしたわけでありませう。

これは海外においてもその信頼を裏切り消費を低下させ、内地においても異常な混乱を起したわけでありませう。昨年私共は農林当局や有力議員を訪ね何んとか生糸の相場を安定してもらいたいと陳情したのですが農林団体の圧力が強いのか生糸が高ければ蚕も高いと対策をとらず放任されて来たのであり、当局の言によれば現在の憲法下ではこの思惑師の行動を取締れない事情にあるとの事でありませう。現在町の小暴力を無くそうとしている運動が盛んになつていますが、生糸の暴騰暴落は正に経済的暴力であり、何んとか町の暴力が無くなると同時に斯る経済的暴力もお互に無くなることを念ずるものでありませう。

絹布の内地市場も不振となり、問屋の方は高い時の約定をなるだけとらぬように考え、機織業者の方では何んとか納めたいとゴタゴタしている状態でありませう。従つて現在市場に出廻つている絹織物は高い原料で作つた製品なので値段も高い筈であり、その中安い原料で作つた製品が市場へ出て来るかと想像されますので皆さんが買われる際はもう少しお待ちになつた方が得策かと思ひませう。

化学繊維については最近次々と新製品が出て参り非常な進歩を遂げて居ります。こゝにお持ちした経テロンはゴムのような弾力性を持つ衣地で、しかも強靱なものです。腋の下の関節部や靴下の一部或は肉體美を見せる服装などに使用されそうに思ひませう。このような化学繊維の活用される時代が身近かに来て居るといへませう。

〇一人一筆 誕生日を迎えて

菅原主純

何時の間にか61回目の誕生日を迎えたが所謂還暦と謂う老人感が湧かない。

自から去来した事共を回顧してみると何んのとりにえもない私は漫然と馬鹿を重ねてきた感が強い、ただ自から多忙をつくり夫れに全力を傾倒するそんな生き方を30余年も続けて来ている多忙が即ち健康法だと考える様になつた。

こんな私がクラブ会員として会の運営に何一つ御手伝いもせず御迷惑のかげどうして寔に慙愧の極みで此の機会を戴いて心から陳謝の意を表させて戴く次第である。

今後は能ふ限り努力して出席率の向上を企りたいと念願して居る又一面私は私なりの事情があつたそれは御

承知の如く長い期間郷里を留守にして30余年振りに帰省して戦前戦時を通じての事業人として人並の生活をして来ただけに終戦後の事業人としての生き方については、自からを鍛え直さない限り人間に再建の困難さを体験したために過去の夢を捨てること生まれながらの二本の素足を大地につけ踏張るそれが歴史的な敗戦民族再建の基本だと考えた。

嘗つての友人知己から中央や関西への勧誘や忠告を再三受けたが謝絶して農業に挺身した本職の農家以上に努力したが周囲の友人知己の日毎の勧告と家族の苦情に負け再び事業人の真似ごとくに1、2の会社の育成指導に傾倒する結果になつた。お蔭で向上し軌道に乗つたので10年前に現事業を経営するに至つた。

而しよく巷間で言われる如く此の地方はなかなか事業が育ち難いと謂うこれを分析すると種々な点を数えあげられるこの悪条件を克服してこそ発掘事業となることを確信し綿密な調査と工夫と誠実性と人並以上の努力することこそ障碍の壁を破り得ると考え、名実共に実行しつゝあることが私の多忙の発端とも謂える筈だ。

その中に大きな意味での社会奉仕の一つに地域環境の改善と経済循環を企図する公共投資の招致に全力を致して居るのも郷土を愛し郷土の二次的発展を祈念してやまない事由の最たる処である。

従而余生を更に一段の努力を吝まない覚悟であることを誓つて誕生の御挨拶としたい。

〇幹事報告

〇会報到着 青森、寒河江、仙台東、本荘、郡山東京弘前東各R.C並びに中国台南R.C

〇バナー到着 湯河原R.C

〇新クラブ設立

調布R.C 例会日 毎週月曜日 12.30~13.30

例会場 調布市上布田町

埼玉銀行調布支店

事務所 全 上

常磐R.C 例会日 毎週月曜日 12.30~13.30

例会場 東邦銀行湯本支店二階ホール

事務所 福島県常磐市湯本3 179

〇例会日臨時変更

八戸R.C並びに八戸東R.C 9月25日並びに27日の例会を9月26日(木)12.30~13.30に、会場を八戸市三日町グレル松和に変更。

〇ニコニコ箱

インターンティゼネラルフォーラム報告書を完成して

吉村龍次君

〇本日の献立

煮物(豚肉、舞茸、白干子) 焼物(鮭、おろし)

味噌汁(豆腐、みつば)